

第十八回句会 俳句

【高点句】

- ☆駅ごとにひらがな読む子春近し 〈眞澄〉
☆ポップコーン弾けるやうに梅咲ふ 〈明美〉
☆麗かや猫薄目開けまた閉じる 〈撫子〉

【各自一句】

- ・春の雲ベンチより珈琲香る 〈安津子〉
・客を待つ一輪挿しの寒牡丹 〈童心〉
・手入れなき庭にも梅の花見頃 〈一馬〉
・蛙跳ね出でし都会を迷いけり 〈青蛙〉
・カバの耳ふるるふると長閑なり 〈明美〉
・長閑なる空一筋の航路あり 〈撫子〉
・切株の暖かなれば座りけり 〈きさ〉
・もういいかい声のしさうな路地長閑 〈眞澄〉
・瀬戸の海島を抱きてうららけし 〈千恵〉
・クロッカス「もういいかい」と顔を出し 〈奈美〉
・山笑ふこだま返しに耳澄ませ 〈静〉
・髪型を変えて日曜うららけし 〈莫院〉
・潮騒もうららかなるや逗子の浜 〈茂〉

*以上、39句（3句ずつ13名）より、選句は13名により4句ずつ

*高点句は、高得点の句より3句（同点の句がある場合は、第三位の句迄）

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に偶然

記載された順に掲載）